

第3学年 授業改善推進プラン

1組 23 2組 23

1. 昨年度 授業改善推進プランについての検証

国語科	読書や音読は興味を持って取り組むが、正しく読み取ることと漢字の書き取りに課題がある。また、文章を読んで自分の意見を書く、登場人物の気持ちを読み取って書き出すことが苦手な児童がいる。
社会科	昨年度は、なし。
算数科	文章の読み取りが不十分で、題意をとらえることができないという課題がある。計算処理は速いが、たす・たされる、かける・かけられるなどの仕組みの理解が不十分である。計算は理解しているが、解き方や考え方を図や言葉で表現するのが難しい児童がいる。
理科	昨年度は、なし。
体育科	体育や他者との勝敗や記録を競うだけでなく、自己記録を伸ばす・目標に向かって取り組むという意識や姿勢は少しずつ身に付いてきた。決まりを守って安全に運動するという意識がまだまだなので高めていく必要がある。児童によっては、体を動かす経験が少ないため、体の動かし方や感覚をつかめていない。
音楽科	歌唱も器楽も意欲的に取り組んでいる。リコーダーもソからレまでの運指を覚えつつある。ただ、まだ慣れない面も多く運指が混乱してしまう時がある。
図画工作科	意欲的に活動に取り組んでいる。発想を豊かに広げられない児童もいる。

2. 平成30年度 授業改善推進プラン

国語科

関心・意欲・態度	課題 文章を読んで感じたことを発表したり、友達の話聞いて質問したり感想を述べたりすることに消極的な児童がいる。 重点 児童のつぶやきや話を価値付けしながら一人一人の感想や考え方の違いを共有することで、考えが広がったり深まったりするよさに児童が気付くようにする。
話すこと 聞くこと	課題 自分の考えを話すことができる児童が多いが、話の中心に気を付けて聞きとることが不十分である。 重点 話型を提示したり、話の聞き方のルールを意識させたりする。ペアやグループなど少人数での発表の機会を多くし、話すこと聞くことに慣れさせ、話の中心などを自分のノートに書き加える機会を増やしていく。
書くこと	課題 段落の役割を理解し、段落相互の関係に注意して文章を書くことが不十分である。 重点 はじめ・なか・おわりの構成や場面分けをして整理して考えさせる。場面ごとに何を書くのか構成の見通しを立てて、その構成に沿って文章を考えさせるようにする。「書くて楽しいね」を活用し指導する。
読むこと	課題 正しく音読できる児童が多いが、場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、自分の感想や考えを明確にしなが読みとることが不十分である。 重点 話の大事な部分やキーワードに線を引いたり記号を書き加えることで、自分が感じたことや、どこを読んで自分が思ったのかを明確にしなが読むという意識をもたせる。
言語に関する 知識・理解	課題 漢字の学習で、正しい字形・使い方・書き順を理解していない。 重点 既習の漢字も含め、児童が間違えやすい漢字の字形や書き順を丁寧に指導する。家庭学習も含め、繰り返し練習し定着を図る。

社会科

関心・意欲・態度	課題 町探検や区内めぐりなど体験的活動には意欲的であるが、資料を読み取ったり、資料から分かることを考えようとしたりに課題がある。 重点 児童が興味をもてる資料を使って学習を行い、提示方法や発問を工夫したり、資料の読み取り方について具体的に指導したりする。地図や高低差のある地形についての学習などにICT機器を取り入れて意欲の高まる学習を展開する。
社会的な 思考・判断・ 表現	課題 分かったことや調べたことを基に、自分の考えをもつことが難しい児童が見られる。 重点 クラスや班で話し合う場面や考えをノートに書く時間を多く設けるとともに、グラフや表などでは、タイトル、縦軸と横軸、変化の様子や大小など読み取り方を習慣化して指導していく。考えがもてない児童に対しては、具体的に考える視点を与えるようにする。
資料活用 の技能	課題 地図記号や方位は知識として習得しているが、自分の位置から東西南北の方角がわからない児童がいる。また、グラフや写真などの資料から、特徴を見つけたり、様子を読み取る力が身に付いていない。 重点 地図を使って学習するときその都度方角を確認する。目標とする方角に何があるのか、目印になる建物や場所を意識させ、方角に関する理解を深めていく。グラフや写真などを見て、わかることや気が付いたことを発表する、書き出す活動を多く取り入れていく。
社会事象 の理解	課題 社会的事象に対して、物事と物事を比べたり、関連させたりして考えたり整理したりするのが難しい児童がいる。 重点 二つ以上の資料から、共通点・類似点や相違点など比較したり関連付けて考える活動を多く取り入れる。

算数科

関心・意欲・態度	課題 全体的に意欲は高く前向きであるが、苦手意識が芽生えてくる時期でもあり、消極的になっている児童もいる。 重点 習熟度別学習では、実態に応じて教材を変え、児童の意欲を高めていく。問題を厳選する、友達と協力して問題を解くなど、正答数を上げたり、やり抜くことを通したりさせて、達成感を多く感じる学習を取り入れる。
算数的な 思考・判断・ 表現	課題 文章問題に対する思考（読み取り・見通し）に課題があり、題意をとらえることが難しい児童がいる。 重点 場面をイメージできるように絵や図で表し、場面を基に立式の判断ができるようにする。考え方や解き方の手順を箇条書きで整理させることで、思考の流れを図式化する。
算数的な 技能	課題 基礎的な計算はできている児童が多い。「時刻と時間」と「暗算」の定着は全体的にやや不十分である。 重点 補習教室で技能や知識・理解の習得を図るとともに、プリントやドリルなどで繰り返し復習する。また、学習状況に応じて日常的に時刻や計算の暗算をさせるような指示や言葉かけを行ったりする。
知識・理解	課題 理解に時間を要する児童がいる。様々な単位の意味や単位の換算を正確に理解していない。 重点 時刻と時間、長さや重さなどの単位の学習では、量感や質感を養えるように体験的な学習を多く取り入れて理解が深まるようにする。

理科

関心・意欲・態度	課題	観察する際、大きさや色、形など指示されたことだけを調べて書いて終わりになってしまう児童がいる。
	重点	それぞれが観察したことをみんなで共有し、自分が気付かなかったことに気付いたり、次はどうなるか、なぜそうなのかを友達と予想し合ったりすることで、児童の興味・関心を高める。
科学的な思考・表現	課題	観察から自然の事物・現象を比較して共通点や相異点を見付けることはできるが、文章を使って表現することに課題がある児童がいる。自分の経験から得た情報や知識などから、根拠を明確にして予想を立てることが難しい。
	重点	予想の際、根拠につながるような生活経験を児童に振り返らせるようにする。結果を基に考察する場面では、自分の予想との比較を行い、友達と考えを話し合う活動を充実させる。
科学的な技能	課題	安全に気を付けて実験や観察しようとする意識はあるが、注意が逸れたり手先が不器用で、道具を正しく使うことに課題がある。
	重点	道具や器具の使い方指導では、危険な使い方やそのように使わなくてはならない理由を明確にする。絵や写真を使って、既習の実験用具の使い方を授業の導入で確認する。実験の際、班で役割分担を決めたうえで行うようにする。
知識・理解	課題	これまでの生活経験や本やテレビなど、回りの情報から当たり前のこととわかっている事象に対し、「なぜそうなのか」という疑問や不思議を抱きにくい児童がいる。
	重点	当たり前のこととして捉えている事象に対し、違う結果や考え方を見せることで「本当にそうなのか。調べてみたい」という意識につなげる。

体育科

関心・意欲・態度	課題	運動の楽しさや喜びを感じながら取り組んでいる児童が多い。基本的な技能に差があるため、消極的な児童もいる。
	重点	きまりを守り仲よく運動する、友達の考えや動きを認める、最後まで努力して運動する姿勢を意識して高めていく。
運動に対する思考・判断	課題	目標やめあてに向かって学習する意識が高い児童が多いが、ただ動く・取り組むだけで終わってしまう児童がいる。
	重点	個人やグループで具体的なめあてを決めたり途中でお互いに確認したりするようにする。なぜそのめあてにしたのか理由を考えさせながら、個人やグループの状況に応じて練習を選択したり工夫したりして運動できるようにする。
運動における技能	課題	基本的な技能や体を動かす動作や感覚をつかめていない児童もいる。
	重点	繰り返し練習して様々な動きに慣れるようにしたり、体の部位の使い方や効果的な動かし方を高められるような準備運動やドリルゲームを取り入れていく。基本的な動きを身に付けたりすることができるよう個別に指導する。
安全・健康に対する知識・理解	課題	
	重点	自分たちの生活と関連付け、健康に良い生活の仕方を理解できるようにする。食育や安全指導月間などと関連付けて具体的に実行する期間を設け体験的に学べるようにする。

音楽科

関心・意欲・態度	課題	ていねいな声で生き生きと歌うことができる。リコーダーの学習には、興味をもって取り組んでいる。
	重点	歌集を活用し、様々な楽曲触れることで歌心を育てる。学習発表会を目標に意欲をもって取り組めるようにしていく。楽しく実態に即した歌唱や合奏の教材を選択していく。
表現の創意工夫	課題	曲想にふさわしい音楽表現を考えて、曲の感じに合う歌声や音色を工夫して演奏することに課題がある。
	重点	歌詞を読み合ったり曲の感じを考え合ったりする活動を通して、思いをもって豊かに表現できるようにしていく。
表現の技能	課題	1学期より始めたリコーダーは、ソ〜レの運指を使って演奏することができるようになった。タンギングも意識して取り組もうとしている様子が見られる。学習発表会に向けた鍵盤ハーモニカの曲では、技能的に難しい部分がある。
	重点	ひきつづき、リコーダーの準備練習ではタンギングを取り入れた活動を取り入れ、慣れるようにしていく。鍵盤ハーモニカでは、難しい部分を部分的に取り出して練習したり、個別に指導したりしていく。
鑑賞の能力	課題	体を動かしたり役割を分担しながら聴くなど、楽しく取り組んでいる。音楽のよさや美しさ、音楽の諸要素・音色の特徴などをよく聴いて感じ取れるようにしていく。
	重点	音楽を形づくっている要素について児童が把握しやすいように、聴くときのめあてを明確に掲示したり、ワークシートを活用したりする。また、体を動かす活動を通して、音楽の特徴をとらえるようにしていく。

図画工作科

造形への関心・意欲・態度	課題	楽しんで造形活動に取り組んでいる児童が多い。継続できるようにする。
	重点	グループでの活動や造形遊びを多く取り入れて、さらに活動への意欲を高めていく。
発想や構想の能力	課題	発想を豊かに広げられなかったり、思いついたことの表し方がわからない児童もいる。
	重点	作品鑑賞を通して様々な表現に気付かせる。教師や周りの友達との話し合いをもとに、発想・構想できるようにする。
創造的な技能	課題	基本的な用具の使い方が定着していない児童がいる。個人差が大きい。
	重点	ICTを活用しながら、用具の使い方や持ち方などを確認する。新しい用具の使い方を練習する時間を設ける。
鑑賞の能力	課題	友人の作品を楽しく見たり、よさに気付いたりして、自分の表現に取り入れることができる。継続できるようにする。
	重点	形や色、材料の感じなどに気付けるよう、感じたことを話したり、友達の話を聞いたりする活動を、活動の途中にも取り入れる。